

高知県と一般社団法人高知県臨床検査技師会及び
一般社団法人日本臨床検査薬卸連合会中国四国臨床検査薬卸連合会との
災害時の臨床検査技師の派遣及び臨床検査薬等の供給に関する協定について

高知県保健政策課

1 「災害時の臨床検査技師の派遣及び臨床検査薬等の供給に関する協定」の締結

■締結日 令和7年12月23日

■連携内容

<臨床検査技師の派遣>

- 1 被災医療機関等での診療支援
 - ア 人員不足への対応
 - イ 病院検査室機能維持のための対応
- 2 避難所や車での生活者に対するDVT（深部静脈血栓症）検査
- 3 その他、高知県より依頼を受け、対応可能と判断した事項

<臨床検査薬等の供給及び輸送>

- 1 臨床検査薬
- 2 臨床検査に必要とされる資器材
- 3 臨床検査に必要でその他県が指定するもの

※中国四国臨床検査薬卸連合会が手配するもの以外の臨床検査薬等（例：国からプッシュ型支援で大量に送付されてきた新型コロナウイルスの検査キット）の県内における輸送についても、可能な範囲で対応

2 一般社団法人高知県臨床検査技師会について

■住所 高知県高知市丸ノ内1丁目7-45

■会長 弘内 岳

一般社団法人高知県臨床検査技師会は、昭和27年6月に高知県衛生検査技術者会として発足し、平成24年（2012年）4月に法人化へ移行。約600名の会員を有する職能団体であり、県民の健康増進と公衆衛生向上を目指し、活動することを目的とする団体である。

3 一般社団法人日本臨床検査薬卸連合会中国四国臨床検査薬卸連合会について

■住所 広島県広島市南区段原日出1丁目1番15号

■会長 木村 洋介

一般社団法人日本臨床検査薬卸連合会中国四国臨床検査薬卸連合会は、一般社団法人日本臨床検査薬卸連合会の中四国ブロック組織。

一般社団法人日本臨床検査薬卸連合会は、平成2年11月、臨床検査薬の適正かつ安定的供給を担う卸売企業を会員として組織された「日本臨床検査薬卸協議会」を発足。平成24年11月に法人化へ移行し、令和7年9月現在で正会員54社を有する団体である。

4 本協定締結の経緯

令和4年11月、一般社団法人高知県臨床検査技師会から高知県に対し協定締結の打診があり、災害時の活動内容等について協議を行う中で課題があり、一時保留となっていたが、能登半島地震での活動などを踏まえて、令和7年7月、本会の顧問である上田県議を通じて、本協定について再度打診をいただいたもの。

令和7年6月には、それぞれの上部団体である「一般社団法人日本臨床衛生検査技師会」と「一般社団法人日本臨床検査薬卸連合会」が、大規模災害発生時に被害を最小限に食い止め、医療機関の継続診療や医療救護活動に必要な検査薬などの保管、配送について連携協力する協定を締結。各都道府県単位の協定締結についても推進しており、両団体と県との3者協定締結は、長野県に続く2県目となる。（県臨床検査技師会と県との2者協定締結は、14県目）

5 一般社団法人高知県臨床検査技師会及び一般社団法人日本臨床検査薬卸連合会中国四国臨床検査薬卸連合会による災害支援

能登半島地震において、高知県臨床検査技師会の上部団体である日本臨床衛生検査技師会を通じて、多数の臨床検査技師が日本全国から派遣され、病院における検査室機能の維持支援や避難所等への医療支援（DVT 検診ほか）が行われた（・石川県庁へのリエゾン派遣：1/5～、・病院支援：1/8～延べ249名、・避難所支援：延べ245名）。これらの支援には臨床検査薬が必要不可欠であり、一般社団法人日本臨床検査薬卸連合会の会員各社より、臨床検査薬等の搬送が行われている。